

3月号

2024(令和6)年

2月29日発行

出会えてよかった 一緒に学べてよかった

学校長 日暮 勤

春一番が校庭の砂を巻き上げる光景や、気温が大きく上下する三寒四温の日々は春の訪れを感じさせてくれます。そんな中、リフレの時間には委員会の主催したランニング週間や体力アップ（逃走中）、ボール遊びやアスレの森の散策など、外で友だちと元気に体を動かす子どもたちの姿が見られます。

今年度は「4年ぶり」という言葉を聞く機会がたくさんありました。子どもたちが制限なく人とふれ合って学んだり遊んだりできるようになりました。後期をふり返ると、そんな待ち望んでいた光景がこんなにたくさんありました。



- ・スポーツフェスティバル、ふれあいフェスティバルなどの学校行事
- ・近隣校（六浦中ブロック）小中、幼稚園・保育園等との交流行事
- ・球技大会、音楽会、合同学習発表会などの区行事
- ・ボッチャ、車いすバスケ、野球などのスポーツ体験教室
- ・ウォークラリー、芸能祭、地域防災訓練、南共済病院の広場づくりなどの地域行事
- ・薬物乱用防止教室、情報モラル教室、陶芸教室などの外部人材からの学び

他にも商店や公共施設の見学など多くの場で、子どもたちは他学年や保護者、地域や外部の方々とのふれ合いを通して学ぶことができました。それらの学びはそれぞれの行事、体験の学習のねらいを達成するだけでなく、そのねらいを達成する過程にある「出会いを通して生まれた人との共有体験」がありました。直接人とふれ合う学びが子どもの大きな成長につながったのです。

これらの出会いのはじめに、子どもたちは出会う人を意識して学習の計画を立てます。出会った人の思いや考え方を受けて、考えを深めていきます。最後にその学びの感想や感謝を伝え合う光景は温かいものです。教科書やネットの中からは決して体験できない学びから「君たちすごいね！」「いっしょにできてよかった！」「またやろう！」「ありがとう！」と思いを言葉で伝え合うのです。こういうシーンがたくさん見られました。

また、年間を通して登下校の見守り、読み聞かせ、図書の整備、植物の環境整備、習字、琴、俳句など、子どもたちに温かく接してくださる地域の皆様にも子どもたちの心を確実に育んでいただきました。決して当たり前でないこれらの活動を長きにわたってつないでくださっていることに、そして、日々の学校教育活動にご理解、ご協力いただき、子どもたちの成長を共感できる地域・保護者の皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。



子どもたちを取り巻くこれらの日々の学びは瀬ヶ崎小の子どもたちの自尊感情を大きく育てています。これは自分も他者も大切にしようとする意識を育む基盤です。「この人（たち）と出会ってよかった」「仲間と一緒に学べてよかった。」という思いがもてる学びは瀬ヶ崎小が積み上げてきた宝だと思います。皆様と共にこれからも大切につないでいきたいと思います。

本校は来年度創立70周年を迎えます。この節目の年を子どもたちが主役になる出会いとつながりと感謝の1年にしたいと思います。来年度も保護者、地域の皆様の益々のご協力よろしくお願いします。